

次号予告

特集 「教育（理学療法・作業療法の教授法を中心に）」

高等教育における教授法の問題と実践

.....玉川大学文学部教育学科 高橋靖直
専門科目教授法の実際

理学療法概論.....神戸大医療技短大 武富由雄

作業療法概論.....京都大医療技短大 木村信子

運動学.....北海道大医療技短大 高橋正明

臨床医学.....金沢大医療技短大 立野勝彦

<随想>.....国療東京病院附属リハビリ学院 篠田峯子

弘前大医療技短大 伊藤日出男

社会医学技術学院 菅原昭一

とびら all or none.....藍野医療技術専門学校 植松光俊

講座 痴呆 4. 老人のボケと痴呆の心理的背景...都老人総合研 井上勝也

医事法規 2. 理学療法士及び作業療法士法逐条解説（1）

.....厚生省健康政策局 松田功

プロGRESS 超音波を利用した診断技術の開発.....自治医科大 伊藤邦臣

あんてな チェア・スキースイス国際ミーティング

.....神奈川リハビリセンター 土嶋政宏・他

編集後記

厳しい冬もようやく峠を越し、南の方からは早、花だよりもちらほら聞かれるようになりました。

我々、PT、OTの学校教育機関も近年急速に膨張し、多くのセラピストの輩出を見ており、これにつれて各分野への進出も話題に上るようになりましたが、今月号は“職域拡大への展望”をテーマに取り上げ、PT・OT両協会長にその立場から展望をお書き戴くと共に、老人・職業の各分野と自営業として異色の活躍をしている方々に登場願いました。特に老人分野では、今話題集中の折から、各方面の分野で老人問題と取り組んでおられる各氏にお集り願ひ、座談会で討論して戴きました。

毎号“あんてな”と“インタビュー”は、それぞれホットニュースや<PT・OTの素顔>を送り届けておりますが、特に“インタビュー”は、インタビュアーの手腕？

（興味・趣味）もあって、鋭い突っ込みで日頃とは違った隠れた一面を覗かせてくれ、下原稿に目を通してながら楽しんでます。

その他、講座が2編、短報一編、プラクティカル・メモ3編が加わって、今月号も無事印刷機に掛ります。

講座は今月号から医事法規が始まりました。その一回目は少し長くなりましたが、この論文のみで医業全体の概念を大旨御理解戴けることと思います。次号以降、2回に分け、同じく松田氏により「理学療法士及び作業療法士法逐条解説」を御執筆戴く予定になっております。御期待下さい。

本誌も年を重ねて19巻、来年は満20歳の成人式を迎えます。読者の皆様に感謝すると共に、更に身近なものになるよう努力を重ねてゆきたい所存です。

（大喜多 潤）

<編集顧問>

天児民和
九州労災病院名誉院長

五味重春
埼玉県障害者リハビリセンター所長

砂原茂一
国立療養所東京病院名誉院長

津山直一
国立身体障害者リハビリセンター病院長

（五十音順、以下同じ）

<編集委員>

上田敏
東大リハビリ部

萩島秀男
ペインリハビリテーションクリニック高島平整形外科

大喜多 潤
兵庫県リハビリセンター

寺山久美子
都心身障害者センター

富岡詔子
信州大学医療技術短大

奈良 勲
金沢大学医療技術短大

福屋靖子
筑波大学

松村 秩
都養育院リハビリ部

<編集同人>

池松洋子

伊東元

岩崎テル子

宇都宮初夫

金子誠喜

鎌倉矩子

木村信子

菊地延子

小嶋裕

斎藤みち子

鈴木明子

高橋正明

田口順子

橋元隆

古川宏博

松沢和子

宮崎珠子

宮前雄

山田令子

矢谷

（担当 細田・西塚）